

建物等の耐震化率について

(2021年4月1日現在)

文部科学省の「2021年度私立学校校舎等実態調査」(以下 実態調査)に基づく校舎等の耐震化率は以下のとおりです。

(分母 A) 「実態調査」対象施設の延床面積合計 : 115,730 m²

(分子 B) a または b に該当する建物の延床面積の合計 : 114,419 m²

a. 新築年月日が 1981 年(昭和 56 年)6 月 1 日以降の建物 : 77,490 m²

b. 新築年月日が 1981 年(昭和 56 年)5 月 31 日以前の建物のうち、耐震診断を実施済で、耐震性能を有しているあるいは耐震補強済の建物 : 36,929 m²

耐震化率 (B/A) : 98.9%

【耐震化完了計画】

旧耐震基準に該当する施設に係る計画は以下のとおりです。

○大学博物館

1921年に建設された貴重な建築物であり、現在、福岡県指定有形文化財となっており、建築基準法第3条により建築基準法の適用除外を受けています。安全性については、福岡県文化財保護課や専門業者と取り扱いについて協議を行い運用しています。将来的な国の重要文化財への認定も視野に入れ、現状としては安全に配慮しつつ特定の活動で使用しています。

○体育館別棟

2023年竣工予定の新体育館内にその機能を移転する計画であり、新体育館完成後、2026年までに取り壊す予定です。

以上

学校法人 西南学院
財務部 施設課